

8	(地独)東京都健康長寿医療センター	地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター 年度計画の実施 (令和2年度)	
事業概要	平成30年度から令和4年度までの5年間を計画期間とする中期計画を達成するため、令和2年度において取り組むべき事項を年度計画として定め、高齢者のための高度専門医療及び研究の充実・発展並びに経営基盤の改善について着実に実施する。		
これまでの経過	<p>平成21年4月：法人を設立し地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター中期計画に基づいた業務運営を開始</p> <p>平成30年3月：地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター第三期中期計画認可決定</p> <p>平成30年6月：第二期中期目標期間（平成25～29年度）業務実績等報告書及び平成29年度財務諸表及び業務実績等報告書を都へ提出</p> <p>平成31年3月：令和元年度計画を都へ提出</p> <p>令和元年6月：平成30年度財務諸表及び業務実績報告書を都へ提出</p> <p>令和2年3月：令和2年度計画を都へ提出</p> <p>令和2年6月：令和元年度財務諸表及び業務実績報告書を都へ提出</p>		
現在の進行状況	<p>【センター全体】 令和2年10月～令和3年3月：新型コロナウイルス感染症への対応として、陽性患者の受入、ワクチン接種体制の整備、都が実施する宿泊施設活用事業への看護師派遣等を実施</p> <p>令和3年3月：第6回理事会にて令和3年度予算及び年度計画の決定</p> <p>【病院部門】 令和2年10月～令和3年3月：平均在院日数11.7日、病床稼働率70.1%で推移（前年同期：平均在院日数12.3日、病床稼働率84.0%）</p> <p>【研究部門】 令和2年10月：「膵臓がんを老化させる新たな治療法を発見」をプレス発表 令和2年11月：「認知症研究の最先端を切り拓く研究組織を開設～ビッグデータとAIを活用し、認知症未来社会の創造を目指す～」をプレス発表 令和3年1月：「肝疾患の合併症で起こる筋委縮のメカニズム解明」をプレス発表 その他12件をプレス発表</p> <p>令和3年2月：研究所外部評価委員会を開催、学識経験者、都民代表者及び行政関係者による外部評価を実施</p>		
今後の見通し	<p>高齢者のための高度専門医療及び研究を行い、都における高齢者医療並びに研究拠点としての役割を引き続き果たしていく。また、病院部門、研究部門、経営部門の連携を一層強め、第三期中期計画及び年度計画に基づき、着実に事業を実施する。さらに、新型コロナウイルス感染症への対応を適切に行っていく。</p> <p>病院部門では職種の枠を超えたチーム医療の推進、医療連携の一層の強化に努め、地域全体で継続的な一貫性のある医療を目指していく。</p> <p>研究部門は高齢者の健康維持や老化・老年学の予防法・診断法の開発等に関して、老化のメカニズムや老化制御等の基礎的研究を実施するとともに、高齢者の健康長寿と福祉に関して、疫学研究や社会調査等による社会科学研究を実施する。</p> <p>また、新たに設置した認知症未来社会創造センター、フレイル予防センターの2つの組織を運営し、医療と研究が一体となり、一層の社会貢献に向けて取り組んでいく。</p>		
問い合わせ先	地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター 経営企画局 事務部 経営企画課	電話	03(3964)1141